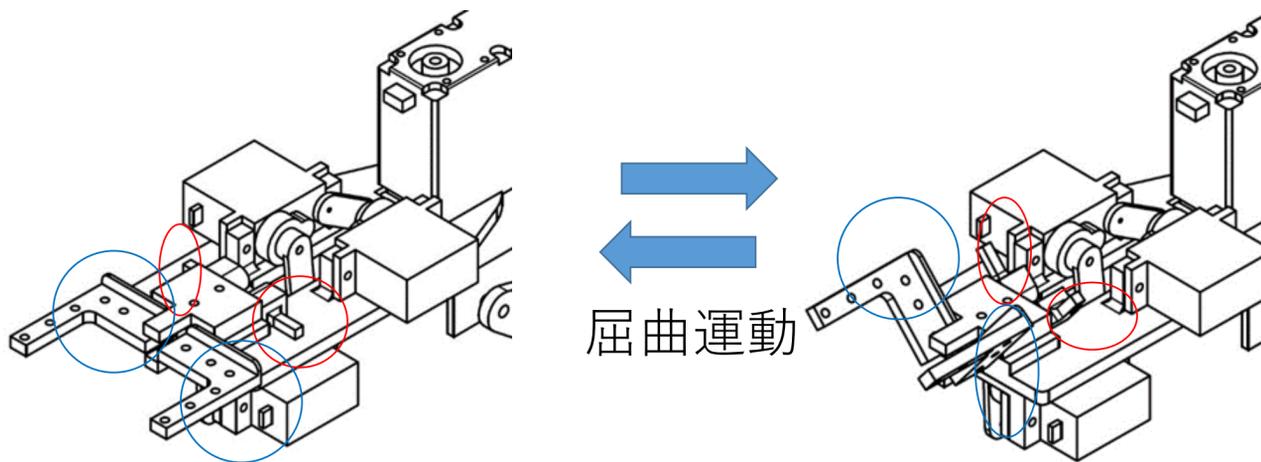
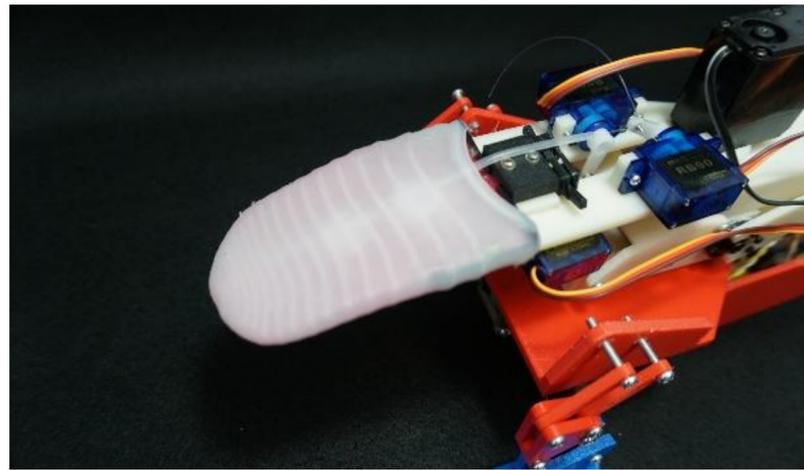


口腔活動リハビリテーションのための多種感覚提示装置

概要：摂食・嚥下は人間らしい生活を送る上で必須である。しかし不幸にして疾病などにより、それらの活動に必須となる舌を失う人たちが存在する。本研究はそのような人たちを対象とした、**舌機能補綴のための装置に関する発明**です。舌の機能が高度に再現されているため、人間のみならず、犬や猫など、比較的人間に近い形状の舌を有する動物であれば、その動作を模擬できます。

従来と比較したメリット：本発明では、従来になく高いレベルでの、生物らしい舌動作の模倣を可能とする人口舌の基本構造を考案しました。舌の動作を精緻に再現可能とすることで、嚥下や発話機能の回復への貢献、ひいては患者達の生活の質に大きく貢献することができます。**本発明を生物ロボットに搭載することにより、ロボットによるアニマルセラピーの機能向上への貢献可能**です。

本発明の特色 舌部分の構造は、構造物先端のコの字部分に薄いプラスチックシートを取り付けその先端にテグスの端を固定し、もう一端をサーボモータに取り付けプラスチックシートをシリコン材で覆う構造です。



舌の対称屈曲動作は、上図の赤丸部分にゴムを結び付け常に舌が対称屈曲し、青丸部分にテグスを括り付けそれをサーボモータで下方に引っ張り通常状態に戻すことによって実現しています。

現状と今後の展望：アニマルセラピー、摂食・嚥下に関する機能補綴、舌再建手術、人口舌技術への応用

お問い合わせ先：国立大学法人電気通信大学 産官学連携センター知的財産部門
E-mail : chizai@ip.uec.ac.jp Tel : 042-443-5838 Fax : 042-443-5839